

弘前大学拠点:COI-NEXT戦略構想の全体像

■ SDGs



〈一人ひとりの健康で幸せな人生〉 〈健康イノベーションエコシステムの構築〉 〈地域社会の活力の最大化〉



SDG3.4
(健康)



SDG9.5
(技術革新)



SDG11.a
(まちづくり)



健康を基軸とした**経済発展モデル**と**全世代アプローチ**でつくる**well-being地域社会共創拠点**

■ ビジョン

健康を基軸に、地域の人々を健康にする魅力的な産業を創出することによって**経済発展**し、**全世代**の人々が生きがいをもって働き続けることができ、心身共にQOLの高い状態での健康寿命を延伸する、**well-beingな地域社会モデル**の実現

■ ターゲット

1 高QOLの健康寿命延伸と社会保障費最適化

若いころからヘルスリテラシーを身に付けることによって健康を自分ごと化して行動変容を継続し、健康寿命の延伸と社会保障費の最適化を実現する

2 魅力的な健康産業創出と生涯現役社会づくり

魅力的なヘルスケア産業の創出により地域経済を発展させ、全世代の人々が生きがいをもって地域で働き続けられる環境をつくる

3 人とデータの基盤強化で健康的社会環境づくり

地域の人々が自然と健康的な行動をとるようなソーシャルキャピタルの高い地域社会を、人材育成・データ活用環境の両面から整備する

■ 研究開発課題

1 強固で持続的な健康イノベエコシステムの構築

SIB(官民連携)導入や魅力的産業への投資促進による健康イノベーションエコシステムの構築

健康基軸の経済発展モデルの構築に向けて「健康資本」への投資実現

2 DXで全世代行動変容する新健診プログラム開発

DX技術導入で全世代の行動変容を具体化するセルフモニタリング式QOL健診プログラムの開発

いつでも、楽しく、健康チェック&教育で全世代のヘルスリテラシーを向上

3 行動変容を具現化するデジタルツインの開発と実装

日常生活の中でリアルタイムに個人の行動変容を正しく誘導できるヘルスケアデジタルツインの開発と実装

健康将来予測や行動変容レコメンドを効果的に届ける仕組みを実現

4 生活での行動変容支えるデータ利活用基盤の整備

健康を基軸に医療・福祉・介護・生活まで多分野を連結・統合したデータ利活用基盤の構築

多様な分野の情報を活用できるリアルワールドデータの基盤を構築